

京都市の地域創生に関する府民意見募集結果

1 意見募集期間

平成27年5月1日～平成27年5月22日

2 回答結果

回答数1,535件

○関心のある項目	・結婚・出産・子育ての環境づくり	33%
	・地域経済対策によるしごとづくり	22%
	・時代にあった地域づくりと暮らしの安心	22%
	・京都への人の流れづくり	12%
	・地域と地域の連携	6%
	・ひとづくり	5%

3 主な意見

<少子化対策>

- 親が元気で前向きでないと子どもたちにも伝わる。家事の息抜きができる場所、子育ての悩みなどがケアできる場所が必要
- 出産後、周りに頼れる人がいないと、子どもを何人か産みたくても難しいので、産前産後ケアをしてくれるシステムがあればうれしい
- 子どもを育てやすい環境づくり、子どもと高齢者の関わり合いのあるまちづくりが必要
- 子どもを安心して預け、仕事に励むことができるよう、保育園の環境整備や保育士の給与・保育体制整備が必要
- 子どもを育てるにはどのくらいの収入が必要で、どんな生活ができるのか、具体的な暮らしがイメージできる情報を発信してはどうか

<人の流れづくり>

- 京都への移住・定住を促進するために、移住希望の方への情報発信力の強化・地域ぐるみの移住者への支援が必要。移住後の暮らしをサポートする仕組みも必要

<地域経済対策>

- けいはんな学研都市に集積するバイオ系・健康産業系企業の研究施設と国際的な競争力を持つ宇治茶や京野菜のブランド力を活かすことで、京都府の農業は世界のトップランナーとなる可能性を持つ
- 京都ブランドとして、京都の和の文化に関する施策を強化し、海外に京都を発信することで、観光客や移住者を増やす

<ひとづくり>

- 人材の育成・確保・定着のためには、府南部に集中している大学や専門学校に府北部にも拠点を持って活動していただきたい。そして、学生の起業や地元企業でのインターンシップなどの職業教育を実施し、地元定着に誘導していただきたい
- 大学入学をきっかけに多くの若者が京都に来る。卒業後も京都にとどまることができるよう就職先を確保することが重要

<地域課題への対応>

- 少子化で多くの小学校が廃校となっている。地域のために次世代のために、有効に活用すべき
- 安心して暮らし続けるためには医療提供体制を整えることが必要
- 安くて使いやすい公共交通機関が必要